

【外国語・中3・「Unit 4 Society for all」①】

育成を目指す資質・能力

- (知識及び技能) 主語 + tell, ask, want + 目的語 + to不定詞の意味や文構造を理解し、発表活動において活用する力
- (思考力,判断力,表現力等) 学校や町で活用されているユニバーサルデザインについての情報、自分の思いや願いを、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話す力
- (学びに向かう力,人間性等) 相手に町のことを知ってもらうために、町のユニバーサルデザインについて情報、自分の思いや願いを簡単な語句を用いて話そうとする力

ICT活用のポイント

- ・メモをもとに話すことができるように、**学習支援ソフトを用いて話す内容を整理**し、それをもとに小グループで伝えあう。
- ・よりよい発表にするため、クラスの友達からアドバイスをもらえるように**発表の様子を録画し、共有サイトにアップロード**する。

本時10/12時間

【つかむ】

前時の振り返りから、本時のめあてを確認する。

【追究する】

学習支援ソフトに作成したメモをもとに、写真を見せながら伝える。

発表の様子を録画し、共有サイトにアップロードする。

【まとめる】

言語面と内容面から学習の振り返りをする。

事例の概要

<本時のめあて>

学校や町にあるユニバーサルデザインについて、その良さや理由が相手に伝わるように紹介しよう。

- 前時の振り返りを全体で確認、共有し、本時のめあてに気付かせる。

【事例におけるICT活用の中心場面①】

- 学習支援ソフトに作成したメモを活用して伝える活動を、前時までに繰り返し行う。
- メモを確認し、**相手に写真を見せながら**小グループで伝え合う。

【事例におけるICT活用の中心場面②】

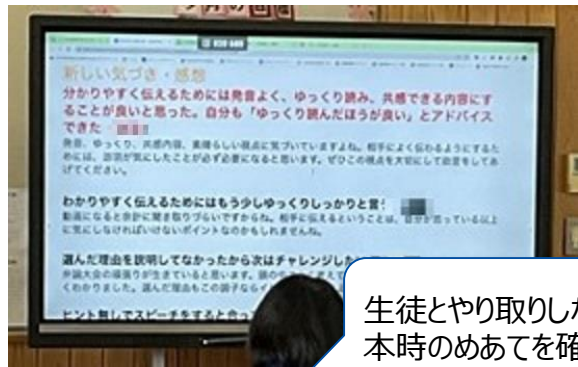
- 発表の様子を録画**し、グループ以外の友達からのアドバイスをもらうために**共有サイトに動画をアップロード**する。

- 言語面、内容面から本時の学習を振り返り、各自で**表計算ソフトに記入**する。

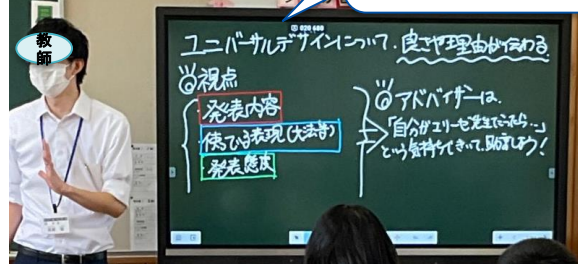
【外国語・中3・「Unit 4 Society for All」②】

＜単元の課題＞

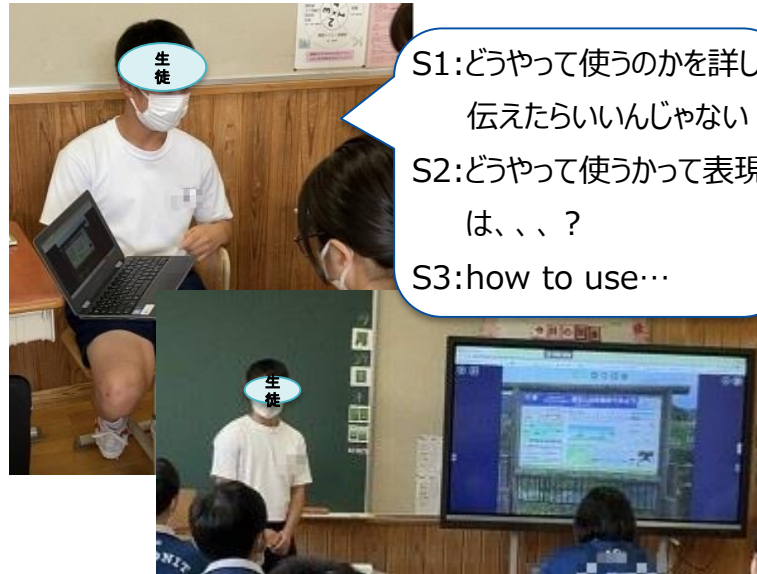
ALTに町のよさをよりわかってもらうために、町や学校で活用されているユニバーサルデザインについて紹介しよう。



生徒とやり取りしながら本時のめあてを確認



【事例におけるICT活用の場面①】



【事例におけるICT活用の場面②】



＜振り返り＞

よさや理由の他に、自分の思いを伝えたら、相手に共感してもらえた。説得力が増すと思った。

○前時の振り返りシートを大型モニターに提示し、振り返りを共有。教師は本時の活動につながる考えを取り上げた。

T:相手が「共感できる内容」を伝えることがよいと思ったんだね。○○先生(ALT)はどんな内容を知りたいって言った？

▶相手が知りたいことに応じた内容の発表になるように、再度単元の課題の目的・場面・状況を確認し、本時は発表態度だけでなく、**伝える内容と表現にフォーカスする意識を持たせていた。**

○3人グループで紹介しあう際、**写真や図などを見せながら伝えた。**その後、聞き手の二人からコメントやアドバイスをもらった。

○小グループでの活動後、中間評価を行った。

T:今の発表、どんなところが良かった？

S4:Do you know～?で始めていた。

S5:多くの人に知ってもらいたいということをアピールしていた。

T:どんな英語で言っていた？

S6:I want more people to know...

▶その後の活動に生かせるように**教師は有用な表現を板書し共有した。**

○グループ以外の友達からもアドバイスを得られるように、**発表の様子を録画し、動画共有サイトにアップロードした。**

▶単元の最後の時間では、**試しの活動時の動画と、ALTへの発表の際の動画を比べ、自己の成長や変化、成就感を味わわせることができた。**

【活用したソフトや機能】

・学習支援ソフト ・動画共有サイト
(プレゼンテーション機能・録画・共有機能)